



県平和委員会

26回目となるスタンディング!

厳冬を前にした ウクライナの

水道や電力インフラなど 民間施設破壊を許すな!!

ウクライナがロシアによって侵略され10月24日(月)で8か月となります。この日、26回目となる抗議集会を水戸南口において5人の参加者でおこないました。ネットを見て来られた男性は「軍事費増 NO」の手作りボードを掲げ、1時間ほど立ち続けてくれました。

この間、プーチン大統領は9月30日(金)、ウクライナ東部・南部4州のロシアへの併合を一方的に宣言しました。また10月8日(土)、クリミア大橋が爆破された報復としてウクライナ全土にミサイルや無人航空機、自爆型ドローンによる攻撃をおこない市民生活に欠かせない水道や電力インフラなど厳冬を前に民間施設を破壊しました。1日でも早いロシア軍の撤退と戦争終結を願います。スタンディングで訴えた主な内容をお伝えします。

○国連憲章は、加盟国の「主権」、「独立」、「領土保全の尊重」を定め、武力行使と武力による威嚇を禁じている。国連総会は10月12日、ロシアによる一方的な「併合」を非難する決議を加盟国の7割を超える143カ国の賛成によって採択した。反対はベラルーシ、北朝鮮、ニカラグア、シリア、ロシアの5カ国。国際世論はロシアの蛮行を許していない。

○岸田内閣は今後5年間で軍事費を5兆円増やし、10兆円以上にしようとしている。学生のみなさん!5兆円あれば授業料がタダになる。小学生のみなさん!給食費がタダになる。軍事費を増やさず、医療につかってほしい。自分の心の中で「戦争より、平和の方がいいよね」と思って下さい。

○茨城県の最低賃金は911円(改正前879円より32円引き上げた)。政府は非課税世帯に給付金を支給しようとしているが、非課税世帯を無くすことの方が大事だ。911円では暮らせない。最低賃金を1,500円に上げれば、年間所得は300万円近くになる。軍事費よりも最低賃金を上げろと要求しましょう。

○岸田内閣による異常で急激な大軍拡がすすめられようとしています。年末には、新たな国家安全保障戦略など「安保3文書」を決定しようとしています。「軍事費よりも社会保障費を」と「軍縮」を求め続けましょう。



「日本平和大会」
オンライン開催に参加を!



1 基本テーマ

- ・ロシアは侵略をただちにやめよ! 国連憲章守れ!
- ・敵基地攻撃・大軍拡ノー! 憲法9条守れ!
- ・軍事同盟強化でなく、東アジアに非核平和の流れ広げよう

2 主な日程

11月26日(土)

- 1 開会集会 10:00~12:00
- 2 シンポジウム・分科会 13:30~16:30
※下記の2テーマに分かれて実施します。

① シンポジウム

- ・ロシアのウクライナ侵略と平和なアジアと世界への展望
- どうしたら戦争のないアジアと日本をつくれるか

② 分科会

- ・敵基地攻撃・大軍拡を許さない運動の学習と交流
- ・基地強化、くらしの問題と結び

11月27日(日)

- 3 閉会集会 10:00~12:00

参加申し込みは、県平和委員会事務局まで

- ・個人参加費 ①~③、それぞれ500円⇒3つ参加で1,500円
- ・オンライン会場費 ①~③、それぞれ1,000円⇒3つ参加で3,000円
(注) オンライン会場での個人参加費は、会場ごとに判断して決めます。

○オンライン会場(視聴会)を募集しています。

現在、「水戸」・「土浦」・「茨厚労」で開催予定です。

○2022年日本平和大会学習パンフレット好評販売中
1冊200円(250円のところ200円で販売)

茨城県平和委員会 第2回 常任理事会開催のお知らせ

日 程 11月12日(土) 午後1時~3時30分
場 所 水戸共同ビル2階 水戸市白梅3-13-8
主な議題 秋の宣伝チラシ活用について
新聞意見広告賛同金募集についてなど

※オンライン併用で開催します。ご希望の方はご連絡ください。招待状を送ります。 連絡先: 029-251-2806

「深夜から未明の訓練の強行」に、多くの県民から怒りの声!

～ 百里基地での夜間訓練中止!!を求める ～

百里基地反対連絡協議会(百里基地反対同盟、茨城県平和委員会、茨城平和擁護県民会議及び政党など8団体)は10月26日(水)、「百里基地での深夜、未明に於ける訓練の中止を求める申入れ」を緊急に行いました。団体代表などの12人が参加し、「深夜、未明を含む訓練は許せない。中止を!」と、抗議しました。

10月19日(水)、「航空自衛隊百里基地管理部基地対策班長」(班長の名前はなく、また文書の宛先は各位とあるだけ)で、「百里基地において、航空機による昼夜連続の飛行訓練を次のとおり実施する予定です。訓練期間中、ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒、ご理解の程よろしく願います」を前文として出されたものです。申し入れ書の内容は、

○実施日(基準)「令和4年10月27日(木)～28日(金)(深夜、未明を含む)」、○機種F-2(機数については未定)、○場所【百里基地及び周辺空域】を百里基地周辺5市町(小美玉市、銚田市、かすみがうら市、行方市、茨城町)に知らせた。この通知一つで、かつて例のない「深夜、未明を含む」訓練を実施するのかと怒りが沸いてくる。また自衛隊が国民主権、人権を無視する「組織」に変貌している様もよく分かった。「深夜、未明」は、昼行性の人間が就寝する時間帯である。牛や豚など家畜も同じ。「ご理解」など到底出来ない。

申し入れ書は「基地によれば年間計画で決まっているから実施するとの事であるが、市役所の回覧が間に合わない程の緊急発表であり、また『今回限か』との問いに



返答は有りません。住民に対しては『知らせれば何をしても良い』という態度がありありと見えます。過去には一片の通達で、夜8時まで勝手に延長を強制された経緯があります。私たちは理解や納得を示してはいません」と、理不尽な爆音下で

暮らしている住民の思いを訴えました。

戦後「百里原飛行場」は開拓地として解放され、開墾されました。その後、自衛隊が基地を強行設置。集団的自衛権の容認と戦争法成立以降の防衛力強化、日米共同訓練等の実施回数が増えている中で「軍事優先」が常態化し、危険な方向に動き出しています。申し入れには、小美玉市議会議員も立ち合いました。百里基地側は、抗議団を基地の敷地内に入れられないために置かれた車止めを撤去要請も拒絶。住民の代表者の「お願い」さえ聞く耳をもたない対応でした。

百里基地反対同盟の梅沢優さんによれば、「27日は夜の7時過ぎ戦闘機8機が離陸し、2時間以内に基地に戻ったようだ。さらに9時45分から50分の間に4機が離陸し、11時過ぎに帰還したようだ」とのこと。戦闘機が離陸する時が一番うるさいとも教えていただいた。基地対策課の菅具隆課長は、小美玉市島田市長が百里基地司令に申し入れをおこなったことを受けて「今回の訓練では27日の離着陸は午後10時までとし」(10月26日付)た、と司令が回答したと発表しています。しかし、梅沢さんの証言にあるように公的な約束さえ破り、守らなかったのです。

さらに、防衛省は「日米共同訓練の実施について」(11月1日付)を公表。「日米共同訓練(訓練移転)の実施について」と「日米共同統合演習(実動演習)の実施について」概要と期間、参加部隊、参加規模、訓練項目が記載されています。期間は11月10日(木)～19日(土)。日米共同統合演習は、自衛隊員約2万6千名の参加、米軍約1万名、その他オーストラリア、カナダ、イギリスも参加する大規模な演習です。膨大な税金が投入されていることでしょう。11月12日(土)には、「百里基地での航空機離発着」訓練を予定しています。土・日曜日の訓練は実施しないにもかかわらず。

百里基地反対連絡協議会は、以下の日程等で上記訓練に反対・抗議するための集会を予定しています。多数の参加を呼びかけます。「訓練反対」などプラカード等もご用意ください。

日程 11月9日(水) 11時30分～12時

場所 百里基地正門近く

※駐車は、百里基地正門より離れた路上(工業団地内)をお願いします。